

令和 2 年度

事業報告
決算報告

救うを託されている。

大切な人を使う時、
赤十字が動く時。



日本赤十字社 奈良県支部
Japanese Red Cross Society

— 目 次 —

令和 2 年度 事業報告

1	災害救護体制の強化	2
2	赤十字講習の充実	8
3	青少年赤十字の育成	10
4	国際活動の推進	12
5	救護看護師の養成	13
6	血液事業の推進	13
7	赤十字ボランティアの育成	14
8	効果的な広報活動の展開	21
9	活動資金の募集及び表彰制度	22
10	奈良県支部有功会	24

令和 2 年度 一般会計決算報告

1	令和 2 年度 一般会計決算報告	25
2	令和 2 年度 会費収入	26

参考資料

1	令和 2 年度 一般会費及び法人会費収納実績表・・・	27
2	令和 2 年度 火災・水害等による救援物資配布・ 弔慰金支給及び付添臨時救護派遣状況・・・	28
3	令和 2 年度 市町村別講習一覧	29

注記) 令和 2 年度、計画しておりました事業につきまして、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止または開催方法を変更（文書審議や WEB など）しております。

令和 2 年度 事業報告

I 災害救護体制の強化 -災害からいのちを守る-

新型コロナウイルス感染症が国内はもとより世界的に深刻な問題となっております。日本赤十字社では、発生初期からクルーズ船等へ医療チームを派遣し、現在も全国の赤十字病院で感染症治療等に取り組んでいます。当支部においても医療従事者等に対する医療物資の受付業務や感染拡大防止のための情報発信などに努めました。

また、近年、地震や豪雨による災害も頻発し、令和 2 年度には 7 月豪雨(熊本豪雨)、福島県沖地震などの災害が発生するなど、多くの地域に甚大な被害をもたらしました。

近い将来には、南海トラフ地震の発生が危惧されています。このため、大規模災害に備え、災害救護体制の整備・強化に取り組むとともに、救護資機材の更新と救護班要員装備品の整備を重点的に行いました。(令和元年度から令和 3 年度までの 3 ヶ年計画)

(I) 新型コロナウイルス感染症に対する対応

① 医療物資の受付・発送業務

奈良県の要請に応じて、新型コロナウイルス感染症の治療にあたる医療従事者等を感染から守るため、寄付による医療物資の受付を行いました。受け付けた医療物資は県内の医療機関、社会福祉施設へお届けしました。

【受付けた医療物資】

品 目	数量	品 目	数量
サージカルガウン	40	防護服	2,060
アイソレーションガウン	30,060	フェイスシールド	2,300
ビニールカップ	50	防護キット	40
N95 マスク	4	マスク用インナーシート	20,000
サージカルマスク	22,200	ナースサンダル	403
不織布マスク	90,628		



▲医療物資受付場所



▲医療物資発送業務

② 奉仕団マスク作製費用の助成

奉仕団活動の一貫として、手作りマスク作製に取り組む奉仕団に対して、材料調達経費の助成などを行いました。

③ 拡大防止・感染予防の啓発

県内の感染拡大防止・感染予防の啓発として、地区分区、有功会、地域赤十字奉仕団、特殊赤十字奉仕団など関係者にパンフレットを配布するなどの情報発信を行いました。また、感染症のリスク軽減や感染症について学べる青少年赤十字向け教材「新型コロナウイルスの 3 つの顔を知ろう!」小冊子を県内の幼稚園・保育園・小中学校へ提供しました。

(2) 救護班の編成

地震や大型台風などによる自然災害などで被災された方々の医療救護を行うため、公的医療機関と協働で救護班を編成し、要員登録や訓練・研修に取り組んでいます。

名 称	班数	備考(委託契約締結日)
奈良県総合医療センター	2班	平成26年4月1日
奈良県西和医療センター	2班	//
南奈良総合医療センター	1班	平成28年4月20日
市立奈良病院	1班	平成26年4月1日
大和高田市立病院	1班	平成26年9月1日
奈良県立医科大学附属病院	1班	平成28年11月1日
合 計	8班	

※1班の体制:医師1名・看護師3名・薬剤師1名・主事1名・調整員1名 計7名

(3) 救護班訓練

大災害に備え、救護訓練に参加しました。

主 催	実 施 日	訓練名称	会 場	支部参加者 (参加総数)
行政 奈良県	令和3年 1月14日	奈良県国民保護共同図上訓練	奈良県庁、葛城市役所	2人 (159人)



▲奈良県国民保護共同図上訓練(奈良県庁)

(4) 日赤災害医療コーディネーター及びスタッフの登録

県内の災害時において、円滑に医療救護活動ができるよう被災地における医療ニーズを把握し、全国から支援に駆け付ける医療チームを効果的に調整することを目的に登録を行っています。

【医療コーディネーター・スタッフ一覧】

	南奈良総合 医療センター	奈良県総合 医療センター	奈良県立医科大学 附属病院	奈良県業務課
コーディネーター (医師)	守川 義信 明石 陽介	關 匡彦	浅井 英樹	
スタッフ (看護師)	高山 良光 福塚 一代		南田 哲平	
スタッフ (薬剤師)	藤井 瑞基	西島 正人		松井 俊典

※医療コーディネーターチームは、医師・看護師・薬剤師・主事(事務職員等)で編成し、各支部3チーム以上置くことになっております。

※主事は、支部職員2名が登録されています。



▲奈良県立医科大学附属病院



▲奈良県総合医療センター



▲奈良県薬務課

(5) 救護資機材・救援物資の整備

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、救護資機材・救援物資の整備を行いました。

(令和元年度から令和3年度までの3カ年計画)

【令和2年度に新たに整備した主なもの】

品名	型式等	数量	品名	型式等	数量
災害救援車	トヨタタウンエース	1台	地区区分 災害救援車	ダイハツハイゼット	3台
	スズキエブリ	1台	業務用無線機	400MHz 基地局1、車載3	4台
ワンタッチテント	3m×3m	3張	LED投光器	100W・防水 11000lm	5台
	3m×6m	4張	自家発電機	EF1800 ガソリンタイプ	4台
非常食	パン	100食	冷暖房機	NAKATOMI SAC-3000	2セット
	惣菜	50食	トランシーバー	スタンダード FTH-314	10台
	ようかん(5本)	20箱	布団	6点セット	100組
	アルファ米	100食	ブルーシート	3.6m×5.4m	100枚
	保存水	720本	デジタルカメラ	ソニーDSC-HX400V	1台



▲災害救援車：タウンエース



▲災害救援車：エブリ



▲地区区分災害救援車



▲業務用無線機



▲ブルーシート



▲布団6点セット

① 救護資機材の整備

【奈良県支部】※()の数字は令和2年度に整備したもの

品名		数量	品名		数量	
救護班要員装備品	医療資機材携行用鞆(1セット4バック)	7	救護所資機材	大型フレームテント	2	
	救護班要員携行バック	30		大型エアータント(ハイリット式)	1	
	大型救急箱	5		エアータント(大1・小1)	2	
	パルスオキシメーター	9		組立式テント	12	
	電子体温計	20		ワンタッチテント(大3・小4)	7(7)	
	ターニケット(止血帯)	50		プライベートテント	1	
	自動体外式除細動器(AED)	3		間仕切り用ブラテーション(2種類)	30	
	救護服:上下	196		簡易トイレ	1	
	救護服:雨衣	30		簡易トイレ用ワンタッチテント	2	
	救護服:防寒衣	30		自家発電機(ガソリンタイプ)	9(4)	
	救護服:Tシャツ	110		水銀灯付発電機	1	
	防護メガネ	20		蓄電池	1	
	LEDヘッドライト	10		投光器	5(5)	
	懐中電灯	10		誘導灯	5	
	ペンライト(ホルダー付)	30		冷暖房機器 (冷暖房器:3、暖房器:1、冷房器:3)	7(2)	
	寝袋	50		診療用机・椅子	1	
	万能ハサミ	20		診察台	4	
	ホイッスル	50		折畳式寝台	80	
	非常食:アルファ米	400(100)		簡易ベッド	6	
	非常食:パン	100		傷病者用毛布	70	
	非常食:ドライスープ(2種)	300		担架	15	
	非常食:惣菜(3種)	100(50)		担架架台	10	
	非常食:水	720(720)		浄水器	1	
	非常食:丼物(2種)	65		LED ランタン	10	
	非常食:ようかん(5本入)	20(20)		リヤカー(大・小)	各1	
資機材 原子力対応	空間線量率測定用サーベイメータ	1	レスキューカー	2		
	防護服セット	6	移動炊飯器	9		
	デジタル個人線量計	7	通信機器	業務用無線基地局	2(1)	
	NBC 除染資機材セット	1		業務用無線陸上移動局(車載機)	12(3)	
支援要員資材	ボランティアユニフォーム	40		業務用無線陸上移動局(携帯機)	5	
	ボランティア反射チョッキ	50		アマチュア無線局	1	
	ボランティア帽子	50		室外設置用外部アンテナ	3	
	防寒衣	59		デジタル通信システム (D-STAR レピーター)	2	
	雨衣(白色・黄色)	50		トランシーバー	10(10)	
災害救護 車両	災害通信指揮車(衛星電話搭載)	1		室外設置用外部アンテナ	3	
	救急車	1		携帯電話	1	
	災害救援車	5(2)		データ通信端末	1	
	救護資機材運搬トラック	1		デジタルカメラ	3(1)	
				タブレット	1	
				衛星携帯電話	3	

【地区区分(市町村)】※()の数字は令和2年度に整備したもの

品名		数量	品名	数量
災害対応資機材	災害救援車	50(3)	ワンタッチテント(大)	24
	移動炊飯器	59	自動体外式除細動器(AED)	33
	発電機:ガソリンタイプ 1600W	22	発電機:ガソリンタイプ 900W	3
	LED 投光機:スタンドタイプ	36	発電機:プロパンタイプ 850W	11

② 救援物資の備蓄、配付状況

○備蓄状況(支部・地区区分において備蓄)※()の数字は令和2年度に整備したもの

毛 布	緊急セット	安眠セット	布 団	バスタオル	ブルーシート	タオルケット
3,276 枚	1,791 セット	1,132 セット	455 組(100組)	813 枚	663 枚(100枚)	1,550 枚

○救護資機材の貸出

資器材名	釜セット	テント	A E D
件数	0 件	0 件	3 件

○火災による救援物資の配付・弔慰金の支給

【救援物資の配布】

世帯数	21 世帯	毛 布	緊急セット	布 団	バスタオル	安眠セット	ブルーシート	タオルケット
人 数	50 人	58 枚	19 セット	38 組	33 枚	0 セット	3 枚	6 枚

【弔慰金の支給】

人数	金 額
5 人	100,000 円



▲毛布



▲安眠セット



▲緊急セット

(6) 災害時物資支援協定の締結

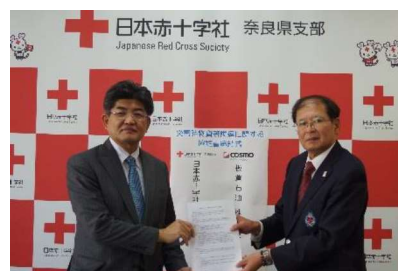
大規模災害が発生した際、支部の備蓄のみでは十分な活動ができないことから、迅速かつ的確な災害救護を実施できる体制を構築するため、企業・団体との災害時物資支援協定に取り組んでいます。



▲(株)八百彦商店との物資支援協定
:H26.2.11 締結



▲一般社団法人奈良県 LP ガス協会
との物資支援協定:H29.1.23 締結



▲板倉石油(株)との物資支援協定
H29.10.25 締結

(7) 国内義援金の受付

義援金を募集する災害は、原則として災害救助法が適用され、かつ配分対象の都道府県に義援金配分委員会が設置されていることが基本的な条件です。

また同じ災害によって、居住する都道府県によってばらつきが生じないように、災害毎に一元的に災害程度に応じて按分した上で、各被災地の都道府県義援金配分委員会に送金し、全額が被災された方々に各市町村からお届けされます。

【令和２年度受付実績】

(単位:円)

義援金募集名	件数	金額	募集期限	前年度までの累計
東日本大震災義援金	147	1,337,218	令和3年3月31日	1,536,330,839
熊本地震災害義援金	38	433,333	令和3年3月31日	145,670,717
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	5	111,752	令和3年3月31日	14,377,351
平成30年7月豪雨災害義援金	15	153,785	令和3年6月30日	66,680,881
令和元年8月豪雨災害義援金	33	85,869	令和2年8月31日	3,994,133
令和元年台風第15号千葉県災害義援金	36	34,169	令和2年6月30日	4,199,303
令和元年台風第19号災害義援金	85	448,151	令和3年3月31日	19,189,794
令和2年7月豪雨災害義援金	273	13,813,699	令和4年3月31日	
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	6	170,224	令和3年5月31日	
合計	638	16,588,200		1,790,443,018

2 赤十字講習の充実 ―いざという時に備えて―

「健康と安全」及び「地域福祉」に役立つ知識と技術を広く県民に普及・指導することを目的として、「救急法」「水上安全法」「健康生活支援講習」「幼児安全法」等の講習を実施しました。令和2年度は、県下各地で130回開催し、延べ2,710人の方に受講いただきました。

(1) 防災・減災のための講習会

- ① 地域防災力の向上を図るため、防災・減災のための講習会を支部及び県下各地域で開催しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
地域で考える災害時の備え ・赤十字防災啓発プログラム ・体験プログラム など	2時間以上	13回	284人
災害時要配慮者生活支援講習			
防災セミナー	適宜	2回	19人
計		15回	303人

- ② 防災教育指導者を育成するため、防災教育事業主任指導者研修会(WEB)へ参加しました。

月日	研修内容	実施場所	参加対象及び人数
9月25日	・防災教育事業の展開状況 ・新型コロナウイルス感染防止を考慮した防災教育事業の実施方法	支部	防災教育指導者 支部職員 2人



▲赤十字防災啓発プログラム



▲避難所運営ゲーム(HUG)



▲災害時要配慮者生活支援講習
～「てあらいくん」で洗い残しをチェック～

(2) 救急法等の講習会

① 救急法

心肺蘇生やAEDの使用法などの救命手当を習得する「基礎講習」や、止血・包帯・搬送の方法などを習得する「救急員養成講習」などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
基礎講習	4時間	12回	153人
救急員養成講習	12時間	5回	121人
短期講習	2時間以上	59回	1,427人
指導員養成講習	30時間		
計		76回	1,701人



▲基礎講習

※基礎講習修了後、救急法救急員及び水上安全法救助員養成講習の受講が可能になります。

② 水上安全法

身近なものを使った応急手当や着衣泳（服を着たまま溺れた場合の対処方法）講習などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
救助員養成Ⅰ講習	14時間		
短期講習	2時間以上	5回	112人
指導員養成講習(ﾌﾞﾛｯｸ合同)	30時間		
計		5回	112人



▲救助員養成Ⅰ講習

③ 健康生活支援講習

健やかな高齢期を過ごすための健康増進・介護方法などの講習や、地域福祉の向上のための介護職員研修などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
支援員養成講習	12時間		
短期講習	2時間以上	14回	269人
指導員養成講習	30時間		
介護職員初任者研修・実務者研修	55時間	1回	20人
計		15回	289人



▲支援員養成講習

④ 幼児安全法

乳幼児に対しての救命手当や、子どもに起こりやすい事故の予防と手当、家庭内での看病の方法などの講習を実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
支援員養成講習	12時間		
短期講習	2時間以上	19回	305人
指導員養成講習	30時間		
計		19回	305人



▲支援員養成講習

3 青少年赤十字の育成 -思いやりを育む-

将来をになう児童・生徒が、自ら「気づき・考え・実行する」という生きる力を養うため、先生等の青少年赤十字指導者の協力のもと、学校教育の現場で豊かな人間性や社会性を育む活動に取り組みました。

(1) 加盟校の状況

項目	保育園・幼稚園	小学校	中学校	高等学校	計
加盟校	29 校	74 校	16 校	10 校	129 校

(2) 青少年赤十字防災教育の推進

青少年の健康と安全を守り、学校や地域、家庭での防災意識の向上を目的に、青少年赤十字防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」（小・中・高校生向）や「ぼうさいまちがいがし きけんはっけん!」（幼稚園・保育所向）の教材を活用した防災セミナーなどを随時開催し、防災啓発物品として「鉛筆」を配布するなど、防災意識の向上に役立てました。

【講習の開催状況】

月 日	研修・講習内容	場所	参加対象及び人数	
8 8.9	親子で学ぶ防災教室 ・「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」冊子を使用した講義 ・身近なものを使った応急手当	支部	県内在住の親子	17 組 40 人
11 26	「まもるいのち ひろめるぼうさい」教材を活用した防災セミナー	鶴舞小学校	鶴舞小学校(5年生) 鶴舞地区自主防災・防犯会	41 人



▲毛布ガウンのしかた



▲ビニール袋を使った手の吊り方



▲防災教育教材



▲防災啓発物品「鉛筆」

(3) 青少年赤十字加盟校の活動支援事業

青少年赤十字加盟校が地域とふれあいながら、特色のある活動に対して、助成金を交付し支援を行いました。

学校名	事業名称	参加人数	活動内容
奈良市立 飛鳥小学校	飛鳥スマイルキッズ 「花いっぱいプロジェクト」	457 人	●地域の清掃活動やお世話になっている地域の方々へ子どもたちが育てた花のプレゼント ●空き缶や古着を回収し、リサイクルし限りある資源を大切にする。 ●学校花いっぱいプロジェクトを展開し、季節ごとの花や植物の栽培活動を通じて自然を愛する心情をはぐくむ。
奈良市立 大安寺小学校	みんなで創ろう「笑顔あいさつ つながり心の通じ合う学校」	301 人	●児童会を中心とした「あいさつ運動」の展開 ●児童会や環境委員会を中心とした学校環境整備 ●児童会や環境委員会の呼びかけによる学校周辺の清掃活動



▲飛鳥小学校



▲大安寺小学校

(4) 災害義援金街頭募金を実施

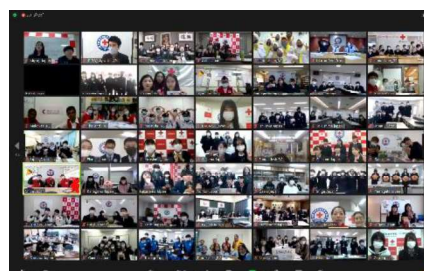
青少年赤十字の実践目標の一つである「奉仕」として、令和 2 年 7 月豪雨で被災された方々を支援する街頭募金を実施しました。(8 月 21 日:近鉄奈良駅前行基広場)



▲街頭募金のようす

(5) 青少年赤十字国際交流事業 (WEB)

青少年赤十字実践目標の一つである「国際理解・親善」の理解を深めることを目的に開催され、奈良女子大学附属中等教育学校の生徒 6 名が参加しました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い蔓延する差別や偏見に目を向け、自分がとるべき行動について学びました。



▲青少年赤十字国際交流事業 (WEB)

(6) 研修会・講習会等

月 日	名 称	場 所	内 容	参加人数
7 17	県青少年赤十字指導者協議会	支部	体験学習について 来年度トレーニングセンターについて	5 人
9 11	青少年赤十字指導者協議会総会・研修会(WEB)	支部	青少年赤十字の最近の取組と今後の動き 青少年赤十字創設 100 周年に向けて	1 人
11 20	県青少年赤十字指導者協議会	支部	児童生徒交流会について 令和 3 年度第 4 ブロック青少年赤十字指導者研修会(当番支部)について	10 人
R3 1 8	青少年赤十字研究会(WEB)	支部	講演「青少年赤十字の現状とこれから」	1 人
3 20	青少年赤十字スタディ・プログラム (WEB:メンバー対象)	支部	新型コロナウイルス感染症と人道のこころ	1 人

4 国際活動の推進 ―世界とつながる―

世界 192 の国と地域にある赤十字の一員として、本社と連携し、災害や紛争等で苦しむ人々の緊急救援や復興支援などの人道的活動を行いました。

(1) 支部の国際活動への参加

バングラデシュ保健医療支援事業に資金協力をしました。



▲母子保健活動の通訳を担う
バングラデシュ赤新月社ボランティア

(2) 海外救援金の受付

【令和 2 年度受付実績】

(単位:円)

救援金募集名	件数	金額	募集期限	前年度までの累計
中東人道危機救援金	3	5,079	令和4年3月31日	185,454
バングラデシュ南部避難民救援金	2	5,005	令和4年3月31日	59,781
合計	5	10,084		245,235

(3) NHK海外たすけあいの受付

【令和 2 年度受付実績】

(単位:円)

受付窓口	件数等	金額	備考
日赤奈良県支部	78	213,319	南都銀行、農協の振込を含む
NHK奈良放送局	38	321,335	奈良市・大和高田市・大和郡山市・天理市・生駒市の地区奉仕団より各2名が協力
ゆうちょ銀行	364	5,658,230	県民から本社への振込
合 計		6,192,884	

5 救護看護師の養成 ー国内外で活躍できる看護師をー

看護に関する幅広い能力と、救護に関する専門知識を兼ね備えた実践者を育成するため、大阪赤十字看護専門学校へ委託し、看護師養成事業を行いました。

(令和2年度)

養成学校	1年	2年	3年	計
大阪赤十字看護専門学校	0人	2人	2人	4人



▲戴帽式



▲看護体験学習

6 血液事業の推進 ー献血にご協力を!!ー

奈良県赤十字血液センターでは、血液製剤を安定的にお届けできるよう、献血者の安定的な確保と安全な輸血用血液の供給に努めました。

- (1) 愛の血液助け合い運動(7月～8月)、全国学生クリスマス献血(12月)、はたちの献血キャンペーン(1月～2月)、バレンタイン献血(2月)等を実施しました。
- (2) 若年層の献血者確保事業や青少年等献血ふれあい事業を実施しました。
 - ・献血セミナー
 - ・献血まるわかりゼミ
- (3) 献血推進の広報活動を行いました。(新聞広告掲出:県有功会)
 - ・愛の血液助け合い運動
 - ・はたちの献血キャンペーン



▲学生献血推進協議会
(近畿統一キャンペーン)



▲高校セミナー



▲高校献血

7 赤十字ボランティアの育成 ―活動を支える―

赤十字ボランティアは、各分野において、赤十字活動や地域の活動に積極的に貢献いただいております。また災害時等における「共助」の担い手として、大切なリーダー的存在であるため、その活動を積極的に支援しました。

(1) 地域赤十字奉仕団(団数及び団員数:39 団、2,955 名) 昭和 23 年発足

・全体の取組として赤十字事業の普及と推進、ハンセン病療養所の訪問(岡山県)と地区委員会、防災・減災をテーマにした研修会などを開催しました。

・地域活動では地域ニーズに応じた独自活動のほか、献血の呼びかけ、クリーンキャンペーンへの参加、NHK海外たすけあいの募金活動と受付協力、防災訓練への参加などに取り組みました。

① 「地域赤十字奉仕団活動促進助成金交付事業」

地域赤十字奉仕団(分団)が取り組む赤十字活動に対し助成金を交付し、奉仕団の活動を促進することにより、赤十字活動に対する県民の理解を深め、健康で安心に暮らせる共同社会の構築に寄与する奉仕活動に助成金を交付しました。

奉仕団名	事業名称	活動内容
奈良市地区赤十字奉仕団	手作りマスク普及活動	「新型コロナウイルス」対策が長期化し、住民のストレスも高まる中、奈良市地区赤十字奉仕団の 10 のそれぞれの分団で手作りマスクを作製し、周辺のこども園、小学校、福祉施設、市役所、消防署、団員等へ計 1,246 枚を寄贈しました。 また、2 分団でマスク作製の講習会を複数日開催しました。
奈良市地区赤十字奉仕団 大宮分団	大宮ふれあい農園「世代をこえて人の輪を広げよう」	こども教室の子供達が野菜を育てることで作物の成長や収穫の喜びを感じさせるとともに奉仕団の活動や理念を PR しました。
五條市赤十字奉仕団	布製マスクの作製・寄付	新型コロナウイルスの影響により、品薄状態になっているマスクについて、洗って何度も使える布製マスクを作製し、市民の方々に寄付することで衛生面の向上とマスク不足の解消に努めました。 布マスク 100 枚を福祉施設、学童へ寄贈しました。
御所市赤十字奉仕団	独居老人に向けた手作りマスクの配布	全国的なマスク不足に対応するため、団員によるマスク作りを行い、市役所、独居老人、福祉施設へ計 355 枚寄贈しました。
平群町赤十字奉仕団	マスク作製	新型コロナウイルスの影響により、品薄状態になっているマスクについて、洗って何度も使える子ども用マスク、大人用マスクをそれぞれ作製しました。(計 512 枚) 子ども用マスクは平群町教育委員会を通じて、町内こども園等へ 357 枚寄贈し、大人用マスクは平群町社会福祉協議会へ 100 枚、平群町教育委員会へ 55 枚寄贈しました。
安堵町赤十字奉仕団	出前防災講習会とマスク作り講習会	新型コロナウイルスの影響で講習会は開催せず、団員宅で布マスク 600 枚を作製し、福祉施設、小中学校、町内高齢者へ寄贈しました。
田原本町赤十字奉仕団	マスク作製事業	新型コロナウイルスの猛威で、マスクを購入することが難しくなったため、手作りマスクを団員で作製し、布マスク 900 枚を小中学校へ寄贈しました。 また、地域住民への手作りマスクの講習会の実施や団員が作った手作りマスクを販売し、売り上げ金は、災害義援金として奈良県支部へ寄付しました。
高取町赤十字奉仕団	手作りマスク作製事業	新型コロナウイルスが猛威をふるっており、子ども、高齢者などの命を守ることやマスクが品薄になっていることから、団員で手作りマスクを作製し、布マスク 800 枚を福祉施設、小学校へ寄贈しました。

奉仕団名	事業名称	活動内容
※大和郡山市赤十字奉仕団	マスク作り	各団員宅で作製し、布マスク 350 枚を大和郡山市へ寄贈しました。
※香芝市赤十字奉仕団	マスク作り	小中学校 14 校へ 20 枚ずつ手作りマスクを計 280 枚寄贈しました。
※三宅町赤十字奉仕団	マスク作り	各団員が作製し、155 枚を町内幼稚園へ寄贈しました。
※広陵町赤十字奉仕団	マスク作り	各団員が作製し、広陵町役場へ寄贈しました。

※地域赤十字奉仕団活動促進助成金を使用せず、活動を行った奉仕団



▲奈良市地区赤十字奉仕団



▲奈良市地区赤十字奉仕団大宮分団



▲五條市赤十字奉仕団



▲御所市赤十字奉仕団



▲平群町赤十字奉仕団



▲安堵町赤十字奉仕団



▲田原本町赤十字奉仕団



▲高取町赤十字奉仕団



▲大和郡山市赤十字奉仕団



▲香芝市赤十字奉仕団



▲三宅町赤十字奉仕団



▲広陵町赤十字奉仕団

- ② ハンセン病療養所を訪問し、入所されている奈良県人会の方へ奉仕団支部委員会委員のメッセージ集をお届けしました。(10月6日:岡山県瀬戸内市)



▲ふれあい交流会



▲メッセージ集



▲やまと郡山かるた絵



▲マスクケース

(川西町赤十字奉仕団)

- ③ 講習普及活動、献血協力の呼びかけや、クリーンアップキャンペーン(9月10日:飛鳥駅周辺9名、9月27日:石見駅周辺8名)に参加しました。

- ④ 地域内での「法人会費」及び「災害義援金」の募集活動、「NHK海外たすけあい」の募集活動及びNHK奈良放送局での受付に協力しました。また近畿大学農学部赤十字奉仕団との協働事業として、「令和3年2月福島県沖地震災害義援金」の街頭募金を実施しました。(令和3年3月20日:近鉄奈良駅前)



▲奈良市地区赤十字奉仕団:近鉄奈良駅前で街頭募金

- ⑤ モデル奉仕団の指定による活動

奉仕団名	活動内容	指定期間
川西町赤十字奉仕団 (団員:137人)	モデル活動名:地域とともに歩む日赤奉仕団	令和元年度～ 令和3年度
	マスク作り、幼稚園への献血啓発、マスクケース作り講座、使用済みカイロ再利用事業	
三宅町赤十字奉仕団 (団員:50人)	モデル活動名:災害救護に関する活動	平成30年度～ 令和2年度
	マスク作り、消火器体験、災害時避難について、新型コロナウイルスの勉強会	



▲川西町赤十字奉仕団
～マスクケース作り～



▲三宅町赤十字奉仕団
～新型コロナウイルス感染症の勉強会～

⑥ 研修会・講習会等

月 日		名 称	場 所	内 容	参加人数
R3 2	5	ボランティア養成研修ガイドブック勉強会 (WEB)	支部	ボランティア基礎研修 ボランティアリーダーシップ研修の意義、企画、運営	1 人
	10	奉仕団支部委員会	支部	令和 2 年度事業中間報告 令和 3 年度事業計画、血液事業について	18 人



▲奉仕団支部委員会

(2) 安全法指導赤十字奉仕団(団員:117名)昭和52年発足

(救急法指導員 82 名、水上安全法指導員 25 名、幼児安全法指導員 24 名、健康生活支援講習指導員 14 名)

・赤十字救急法、健康生活支援講習、幼児安全法、水上安全法の講習を普及するために組織された奉仕団です。

・救急法などの各種講習会開催のほか、団員の知識と技術の向上を図るために、研修会を実施しました。

① 講習会指導状況

区 分		回数(回)	受講者数(人)	指導者数(人)
基礎講習		12 回	153 人	26 人
養成講習	救急法	5 回	121 人	11 人
	水上安全法			
	幼児安全法			
	健康生活支援講習			
短期講習	救急法	54 回	1,353 人	62 人
	水上安全法	5 回	112 人	5 人
	幼児安全法	1 回	5 人	12 人
	健康生活支援講習	9 回	151 人	1 人
災害時要配慮者生活支援講習		1 回	2 人	1 人
計		87 回	1,897 人	118 人

② 研修会、講習会等

月 日		行事名	場 所	内 容	参加人数
4		総会(文書審議)		令和元年度事業報告、会計報告 令和２年度事業計画、予算等審議 役員改選	
7	18	役員会	支部	研修会について	12人
9	5	役員会	支部	研修会について	10人
11	14	奉仕団研修会	支部	講演「自覚しよう、今の自分の体を」 一次救命処置の指導方法と注意事項 基礎講習会再開にあたっての確認	36人
12	20	救急法基礎講習会	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者 6 人)	2人
R3 1	17	災害時要配慮者生活支援講習会	支部	災害時の生活支援、非常食体験など(受講者 2 人)	1人
	24	救急法基礎講習会	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者 6 人)	3人
2	21	救急法基礎講習会	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者 5 人)	3人
3	7	救急法基礎講習会	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者 6 人)	2人
	15	救急法基礎講習会	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者 4 人)	2人
	28	救急法基礎講習会	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者 6 人)	2人



▲研修会



▲講習指導

(3) 無線・救護赤十字奉仕団(団員:23名)昭和47年発足

平成25年度に無線赤十字奉仕団から名称変更

無線の資格を生かし、災害時の情報収集や伝達活動をするために組織された奉仕団です。

今年度は、他府県との通信訓練に参加しました。

① 研修会・講習会等

月 日		名 称	場 所	内 容	参加人数
7	18	幹事会	奈良市		5 人
8	26	通信訓練・機器メンテナンス	支部		2 人
11	18	通信訓練・機器メンテナンス	支部		2 人
R3 1	20	通信訓練・機器メンテナンス	支部		3 人
2	10	赤十字奉仕団支部委員会	支部	令和 2 年度事業中間報告 令和 3 年度事業計画、血液事業について	1 人
無線通信訓練 の実施		北海道(7/11)、新潟県・兵庫県(10/25)、和歌山県(11/1)、栃木県(12/5)、 愛知県(12/20)、群馬県(2/6)			

(4) 看護赤十字奉仕団(団員:47名)昭和48年発足

看護師の資格を有したボランティア組織です。主に地域社会に貢献しようと奈良マラソン等、公共性の高い行事等の臨時救護などを通じて赤十字思想の普及に努めました。

① 救護活動回数

区分	回数	人数
臨時救護	6回	8人
団体付添救護		
計	6回	8人

(5) 青年赤十字奉仕団(団員:20名)

奈良県青年赤十字奉仕団:2名 昭和60年発足
近畿大学農学部赤十字奉仕団:18名 平成4年発足
奈良大学学生赤十字奉仕団:休団 平成24年度発足

勤労青年や大学生によるボランティア組織です。主に赤十字思想の普及、他府県との交流や献血事業の推進に努め、青少年赤十字活動のサポート、救急法の習得を行いました。

① 新型コロナウイルス感染症拡大により、マスク不足が深刻となり、手作りマスクの作製に取り組みました。



▲手作りマスクの寄贈

② 「災害義援金」の募金活動を実施しました。

月日	災害名	場所	人数
7月18日	令和2年7月豪雨災害義援金	近鉄奈良駅前	2人
R3.3.20	令和3年2月福島県沖地震災害義援金	近鉄奈良駅前	2人



▲「令和2年7月豪雨災害義援金」街頭募金



▲「令和3年2月福島県沖地震災害義援金」街頭募金

③ 「赤十字フェスタ 2020 in なら」に協力しました。(9月19日:イオンモール大和郡山)



▲「赤十字フェスタ 2020 in なら」

④ 研修会・講習会等

月 日		名 称	場 所	内 容	人数
5	16~17	青年奉仕団全国協議会（WEB）		委員の役割 コロナ禍でのモチベーション	1 人
6	27	青年奉仕団第 4 ブロック代表者会 議（WEB）		第 4 ブロック活動報告、計画等協議	3 人
8	17	救急法講習	奈良市	人工呼吸、AED の使い方	2 人
9	12	第 4 ブロック協議会第 1 回役員会 （WEB）		第 4 ブロックリーダー養成研修について	2 人
10	18	健康生活支援講習	奈良市	災害時要配慮者支援、認知症高齢者の対応	7 人
11	25	第 4 ブロック協議会第 2 回役員会 （WEB）		役員の交代	3 人
	28	第 4 ブロックリーダー養成研修会 （WEB）		赤十字について リーダーについて	3 人
R3 2	27	第 4 ブロック協議会第 3 回役員会 （WEB）		全国協議会委員の選出 役員引継	3 人
3	10	ボランティア活動充実に向けた研究 会（WEB）		支部指導講師による講義 YABC ツールのアクティビティ体験	1 人
	20	第 4 ブロック協議会第 4 回役員会 （WEB）		令和 3 年度役員の選出 令和 2 年度事業報告、収支決算(案) 令和 3 年度事業計画、収支予算(案)	2 人
	25	東日本大震災から 10 年プロジェク ト オンライン語り部 LIVE		被災地（宮城県石巻市）で伝承活動を続けて いる語り部さんの生の声を LIVE 配信	1 人

(6) 青少年赤十字賛助奉仕団(団員:16名)昭和39年賛助会として発足、平成14年に名称変更
青少年赤十字の指導に当たっていた先生で組織され、青少年赤十字指導者やメンバーの活動を側面から支えています。

① 「防災セミナー」や「親子で学ぶ防災教室」に協力しました。

月 日	名 称	内 容	場 所	人数
8	8.9	親子で学ぶ防災教室 ・「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」冊子を使用した講義 ・身近なものをを使った応急手当	支部	2人

② 研修会等

月 日	名 称	内 容	場 所	人数
8	県青少年赤十字賛助奉仕団総会(文書審議)	令和元年度事業、決算報告 令和2年度事業計画、予算(案)		16人
3	10	ボランティア活動充実に向けた研究会 (WEB)	支部指導講師による講義 YABC ツールのアクティビティ体験	支部 1人

(7) 防災ボランティア(個人)(登録人数:19名)平成9年度発足
災害時の対応や、避難生活対応などの救護活動を行います。

① 「赤十字 NEWS」発送業務に協力しました。(5月・8月・11月・2月)



▲「赤十字 NEWS」発送作業

8 効果的な広報活動の展開 ―活動へのご理解とご参加を―

赤十字の事業活動を、幅広く県民に知っていただき、赤十字ボランティアへの参加、会費募集への理解を深めるため、赤十字運動月間を中心に広報活動に努めました。

5月の「赤十字運動月間」では、地区区分を通じて、「日赤なら」、「赤十字NEWS」などの配布や、近鉄奈良駅前行基広場での啓発用横断幕設置などの広報活動を行いました。

また、9月には大型商業施設「イオンモール大和郡山」で「赤十字フェスタ 2020 in なら」を開催しました。

(1) 支部の広報活動

- ① 運動月間(5月)に近鉄奈良駅前行基広場にて、啓発用横断幕を設置しました。
- ② ハートラちゃん着ぐるみを作成し、イオンモール大和郡山にて、「赤十字フェスタ 2020 in なら」を開催し、赤十字活動のPRに努めました。
- ③ 広報誌「日赤なら」(5月に23万部)を作成しました。
- ④ 遺贈、相続寄付を推進するため、日経電子版バナー広告を掲載しました。
- ⑤ 会員等関係者へ赤十字NEWSを送付しました。
- ⑥ 講習受講者に、赤十字活動をPRし活動資金への協力を依頼しました。
- ⑦ ホームページによる各種情報等を発信しました。
- ⑧ 報道機関へは、広報資材をもって広報の協力依頼を実施しました。(随時)



▲近鉄奈良駅前行基広場での横断幕設置



▲「赤十字フェスタ 2020 in なら」



(2) 地区区分への広報活動

- ① 広報誌「日赤なら」23 万部作成し、各自治会等を通じて、県民に配布しました。
- ② 各地区区分広報誌への会費募集広報の依頼及び救急法等講習会の広報を実施しました。
- ③ 地区区分(市町村)主催の1日赤十字などのイベントや、自治会主催の防災訓練などのイベントで「赤十字パネル展」やのぼりなどの広報資材を通じて広報 PR を行いました。

(3) 第4ブロック(近畿)合同広報活動

- ① 啓発資材(ポケットティッシュ)4 万個を作成し、イベント等で配布しました。

9 活動資金の募集及び表彰制度 –活動資金にご協力を!!–

日本赤十字社は、会員の皆さまから納めていただく会費と、広く皆さまからお寄せいただく寄付金を財源として、災害救護活動や国際活動などの人道的活動を展開しています。

今年度も、地区区分、赤十字奉仕団、自治会、日赤有功会をはじめ県民の皆さまのご理解を得るように努め、会費増強に取り組みました。

また、県内の幼・小・中・高等学校への赤十字募金のお願いや、個人・法人などへのダイレクトメール(27,140 通)での募集を行うとともに、企業等とのパートナーシップ(寄付金付自販機設置など)による寄付のお願いや、遺贈による寄付の周知による活動資金の協力依頼などを行いました。

(1) CSR(社会貢献)実績

① 寄付金付自販機設置実績

寄付金付自販機設置先	住 所
奈良県奈良土木事務所	奈良市
(株)ぐりーん	天理市
(株)RISING SUN	橿原市
(有)三輪そうめん天寿堂	桜井市
中造園	葛城市



▲寄付金付自動販売機

② 活動資金募金箱設置

活動資金募金箱設置先	設置場所	活動資金募金箱設置先	設置場所
インプレス	奈良市	奈良カントリークラブ五条コース	五條市
新奈良ゴルフ倶楽部	奈良市	シプレカントリークラブ	五條市
東大寺	奈良市	秋津原ゴルフクラブ	御所市
奈良ホテル	奈良市	奈良中央信用金庫二上店	香芝市
奈良中央信用金庫南奈良支店	奈良市	宇陀カントリークラブ	宇陀市
奈良柳生カントリークラブ	奈良市	オークモントゴルフクラブ	山添村
(有)総合在宅介護センターきらり	奈良市	県立万葉文化館	明日香村
医療法人厚生会奈良厚生会病院	大和郡山市	吉野カントリークラブ	大淀町
中華料理 橘	大和郡山市		

③ 災害時物資支援協定の締結

締結先	設置場所
板倉石油(株)	奈良市
一般社団法人奈良県LPガス協会	奈良市
(株)八尾彦商店	王寺町

④ 支援マークの締結

締結先	設置場所
山本松産業(株)	天理市
(株)サンシーワールド	御所市

(2) 表彰制度

多額の活動資金を納入された個人や法人等については、国や日本赤十字社の表彰制度が適用されます。

① 日本赤十字社の有功章贈与・表彰実績

項 目	人 数	贈与対象内容
1. 支部長表彰状・感謝状	14人	活動資金として一時または累計で10万円以上を納められた個人・法人等
2. 銀色有功章	5人	活動資金として一時または累計で20万円以上を納められた個人・法人等
3. 金色有功章	9人	活動資金として一時または累計で50万円以上を納められた個人・法人等
4. 本社感謝状(6条)	2人	金色有功章受章後、更に活動資金として50万円を納められた個人・法人等



(金色有功章:個人 左:男性 右:女性)



(金色有功章略章)



(金色有功章(法人)
銀色有功章(個人・法人))

② 国の表彰制度

項 目	人 数	贈与対象内容
1. 厚生労働大臣感謝状	1人	活動資金として100万円以上を納められた個人 活動資金として300万円以上を納められた法人等
2. 紺綬褒章	2人	活動資金として500万円以上を納められた個人 活動資金として1,000万円以上を納められた法人等



▲紺綬褒章

10 奈良県支部有功会(会員数:419人)昭和41年11月結成

日本赤十字社から金色有功章を受章された赤十字会員が、赤十字の人道精神に共鳴いただき、支部事業への積極的なご協力と、赤十字会員の増強等に取り組んでいただきました。

また、7地域の有功会(奈良市都祁、奈良市月ヶ瀬地区、大和郡山市、王寺町、宇陀地区、橿原市、生駒市)においては、それぞれの地域において会員の増強と赤十字運動に貢献していただきました。

(1) 国内義援金及び海外救援金(令和2年7月豪雨、NHK海外たすけあい)として20,000円(各10,000円)を送金しました。

(2) 本社の国際活動資金に協力しました。(バングラデシュ保健医療支援事業)

(3) 新聞広告による支援として、赤十字運動月間、愛の血液たすけあい月間、老人の日・高齢者保健福祉月間、救急の日、年賀、はたちの献血キャンペーンに、新聞広告を掲載しました。

(4) 総会等

月 日	行事名	場 所	内 容
9	有功会総会(文書審議)		令和元年度事業報告・会計収支決算 令和2年度事業計画
10	紺綬・有功会会長協議会 (文書審議)		令和元年度事業報告 令和2年度事業中間報告
R3	有功会連絡協議会 (文書審議)		令和元年度会計収支決算報告 令和2年度地区有功会活動報告 等
3	有功会理事会 (文書審議)		役員の選任、令和元年度有功章会員加入等状況、会計収支状況、 令和2年度事業計画

令和２年度 一般会計決算報告

Ⅰ 令和２年度 一般会計決算

(収 入)						(単位：円)
区 分	令和2年度 予算現額	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	前年度増減	付 記	
1 会費収入	167,000,000	159,547,774	361,834,564	△ 202,286,790	地区分区(市町村)及び支部を通じた個人、法人からの会費、寄付金	
2 委託金収入	0	0	712,688	△ 712,688		
3 補助金及び 交付金収入	3,767,000	2,967,960	6,668,220	△ 3,700,260	本社からの交付金	
4 繰入金収入	1,100,000	0	1,117,000	△ 1,117,000		
5 資産収入	0	88,830	36,320	52,510	支部災害救援車売却	
6 雑収入	6,133,000	2,751,159	5,235,047	△ 2,483,888	講師派遣収入、講習用教材費収入等	
7 前年度繰越金	20,000,000	30,605,427	25,706,703	4,898,724	前年度繰越金	
収 入 合 計	198,000,000	195,961,150	401,310,542	△ 205,349,392		
(支 出)						(単位：円)
区 分	令和2年度 予算現額	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	前年度増減	付 記	
1 災害救護 事業費	34,360,000	24,613,142	32,565,572	△ 7,952,430	災害に備えた救護装備費、救援物資整備費、医療救護訓練費、救護看護師養成費等	
2 社会活動費	37,430,000	21,396,335	34,011,903	△ 12,615,568	救急法等講習普及費、奉仕団及び青少年赤十字育成費、血液事業普及費	
3 国際活動費	1,100,000	1,000,550	1,018,906	△ 18,356	バングラデシュ保健医療支援事業	
4 指定事業 地方振興費	5,000,000	5,000,000	3,017,000	1,983,000	災害救護資機材整備費	
5 地区分区 交付金支出	16,390,000	9,818,497	10,246,998	△ 428,501	地区分区(市町村)における赤十字活動費	
6 社業振興費	34,170,000	28,919,120	30,190,113	△ 1,270,993	赤十字思想の普及啓発費、会費・義援金等募集費、社員管理費	
7 積立金支出	15,000,000	14,837,314	180,164,446	△ 165,327,132	災害等資金積立金 退職給与資金特別会計積立金	
8 総務管理費	26,990,000	23,255,130	26,988,774	△ 3,733,644	支部の事業管理運営費	
9 資産取得及び 資産管理費	1,232,000	1,174,232	1,228,769	△ 54,537	施設管理費	
10 本社送納金支出	23,850,000	22,732,166	51,272,634	△ 28,540,468	本社への送納金	
11 予備費	2,478,000	0	0	0	その他	
支 出 合 計	198,000,000	152,746,486	370,705,115	△ 217,958,629		
次年度繰越金		43,214,664	円			

2 令和2年度 会費収入

(単位:千円)

区分	H28	H29	H30	R1	R2
一般会費	106,999	116,513	137,794	118,789	139,707
うち地区・分区	87,362	82,881	79,721	78,892	75,549
うち有功会勸奨等	19,637	33,604	57,675	39,880	64,158
うち住民税控除対象の海外救援金※	0	28	398	17	0
法人会費	8,504	11,033	81,303	243,045	19,841
計	115,503	127,546	219,097	361,835	159,548

※個人住民税控除対象の海外救援金

H29 年度:南アジア水害救援金

H30 年度:インドネシア・ロンボク島地震救援金、インドネシア・スラウェシ島地震救援金

モザンビークサイクロン救援金

R1 年 度:モザンビークサイクロン救援金

❖日赤奈良県支部評議員会の運営

(1)日赤奈良県支部評議員会の開催

開催日時	場所	議 案
令和2年6月(文書審議)		(1) 令和元年度支部事業報告及び収支決算報告 (2) 令和元年度血液事業報告
令和3年2月17日(水)	日赤奈良県支部 (奈良市)	(1) 監査委員の任期満了に伴う選出 (2) 令和3年度支部事業計画及び収支予算 (3) 令和3年度血液事業計画

(2)令和元年度事業・決算について、監査法人による外部監査を受けました。また、監査委員監査(訪問による監査)にて、支部監査委員2名にご報告しました。



▲支部評議員会

参 考 資 料

Ⅰ 令和２年度 一般会費及び法人会費収納実績表

区分		令和2年度		令和元年度		前年度対比	
		実績額(円)	前年比	実績額(円)	前年比		
一般会費	奈良市	13,702,449	95.4%	14,370,358	92.7%	△ 667,909	
	大和高田市	3,324,200	93.7%	3,549,100	115.0%	△ 224,900	
	大和郡山市	6,086,515	98.7%	6,163,913	101.1%	△ 77,398	
	天理市	2,759,200	99.1%	2,783,350	98.2%	△ 24,150	
	橿原市	6,109,631	96.7%	6,316,105	100.7%	△ 206,474	
	桜井市	1,980,720	94.2%	2,102,220	98.8%	△ 121,500	
	五條市	2,446,465	94.2%	2,597,907	98.0%	△ 151,442	
	御所市	1,972,000	95.1%	2,073,240	100.9%	△ 101,240	
	生駒市	6,655,589	97.9%	6,798,550	102.0%	△ 142,961	
	香芝市	2,845,000	100.0%	2,845,000	100.0%	0	
	葛城市	2,763,190	97.1%	2,845,003	99.5%	△ 81,813	
	宇陀市	2,445,782	95.1%	2,572,659	105.5%	△ 126,877	
	市地区計	53,090,741	96.5%	55,017,405	99.3%	△ 1,926,664	
	山辺郡	515,500	99.1%	520,000	99.3%	△ 4,500	
	生駒郡	4,630,140	98.5%	4,700,232	95.3%	△ 70,092	
	磯城郡	4,134,483	97.6%	4,234,628	98.1%	△ 100,145	
	宇陀郡	550,824	101.7%	541,838	94.2%	8,986	
	高市郡	879,500	48.9%	1,800,236	99.0%	△ 920,736	
	北葛城郡	6,837,750	98.3%	6,956,346	100.2%	△ 118,596	
	吉野郡	4,400,712	95.1%	4,627,009	99.0%	△ 226,297	
	吉野西	509,650	103.1%	494,180	96.1%	15,470	
	郡地区計	22,458,559	94.1%	23,874,469	98.3%	△ 1,415,910	
	地区分区扱計	75,549,300	95.8%	78,891,874	99.0%	△ 3,342,574	
	支部扱計	64,157,394	160.9%	39,880,390	69.1%	24,277,004	
	※海外救援金計	0		17,000		△ 17,000	
	一般会費合計	139,706,694	117.6%	118,789,264	86.2%	20,917,430	
	法人会費合計		19,841,080	8.2%	243,045,300	298.9%	△ 223,204,220
	会費合計		159,547,774	44.1%	361,834,564	165.1%	△ 202,286,790

※「海外救援金」は、住民税控除対象の海外救援金を掲載しています。

令和2年度 火災・水害等による救援物資配付・弔慰金支給及び付添臨時救護派遣状況

地区・区分名	救援物資									弔慰金 (件数)	付添臨時救護 (看護師)	
	世帯	人数	毛布	布団	バスタオル	緊急セット	安眠セット	ブルーシート	タオルケット		回数	人数
奈良市	3	5	6	3	4	3				2		
大和高田市	1	6	12	5	6	2		1				
大和郡山市												
天理市												
橿原市	5	14	19	12	13	5			6			
桜井市	2	8	7	1	1	1				1		
五條市												
御所市												
生駒市												
香芝市	1	3	3	3	3	1		1				
葛城市										1		
宇陀市	1	3	6	3	3	1		1				
市地区計	13	39	53	27	30	13	0	3	6	4	0	0
山辺郡山添村												
生駒郡	平群町											
	三郷町											
	斑鳩町	7	10	4	10	2	5					
	安堵町											
	計	7	10	4	10	2	5	0	0	0	0	0
磯城郡	川西町											
	三宅町											
	田原本町											
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇陀郡	曾爾村											
	御杖村									1		
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
高市郡	高取町											
	明日香村											
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北葛城郡	上牧町											
	王寺町											
	広陵町										1	1
	河合町											
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
吉野郡	吉野町	1	1	1	1	1						
	大淀町											
	下市町											
	黒滝村											
	天川村											
	下北山村											
	上北山村											
	川上村											
	東吉野村											
	計	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
吉野西	野迫川村											
	十津川村											
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他											1	1
県											5	5
合計	21	50	58	38	33	19	0	3	6	5	7	7

令和2年度 市町村別講習一覧

		救急法						水上安全法						健康生活支援講習						幼児安全法			
		基礎		養成		短期		養成		短期		養成		短期		災害時高齢者支援		養成		短期			
		回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生
奈良市		3	31	2	31	14	473			3	57			2	67	6	187			7	132		
大和高田市																							
大和郡山市														1	7					2	30		
天理市						12	244													1	18		
橿原市						2	40							2	36	1	28						
桜井市																							
五條市																							
御所市																							
生駒市						1	31							1	10	1	28			1	30		
香芝市																							
葛城市																							
宇陀市														2	27								
市地区計		3	31	2	31	29	788	0	0	3	57	0	0	8	147	8	243	0	0	11	210		
山辺郡山添村														1	8								
生駒郡	平群町													1	30					1	15		
	三郷町					1	34													3	25		
	斑鳩町													1	26					2	31		
	安堵町																						
	計	0	0	0	0	1	34	0	0	0	0	0	0	2	56	0	0	0	0	6	71		
磯城郡	川西町																						
	三宅町					1	7																
	田原本町													2	51					1	18		
	計	0	0	0	0	1	7	0	0	0	0	0	0	2	51	0	0	0	0	1	18		
宇陀郡	曾爾村																						
	御杖村																						
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高市郡	高取町					6	81													1	6		
	明日香村					1	10																
	計	0	0	0	0	7	91	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6		
北葛城郡	上牧町					1	10																
	王寺町																						
	広陵町																						
	河合町																						
	計	0	0	0	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吉野郡	吉野町																						
	大淀町																						
	下市町																						
	黒滝村																						
	天川村																						
	下北山村																						
	上北山村																						
	川上村																						
	東吉野村																						
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吉野西	野迫川村																						
	十津川村																						
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
郡地区計		0	0	0	0	10	142	0	0	0	0	0	0	5	115	0	0	0	0	8	95		
県主催		3	90	3	90	9	162																
その他						10	333			2	55												
支部		6	32			1	2							1	7	2	4						
合計		12	153	5	121	59	1,427	0	0	5	112	0	0	14	269	10	247	0	0	19	305		